

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立来待小学校）

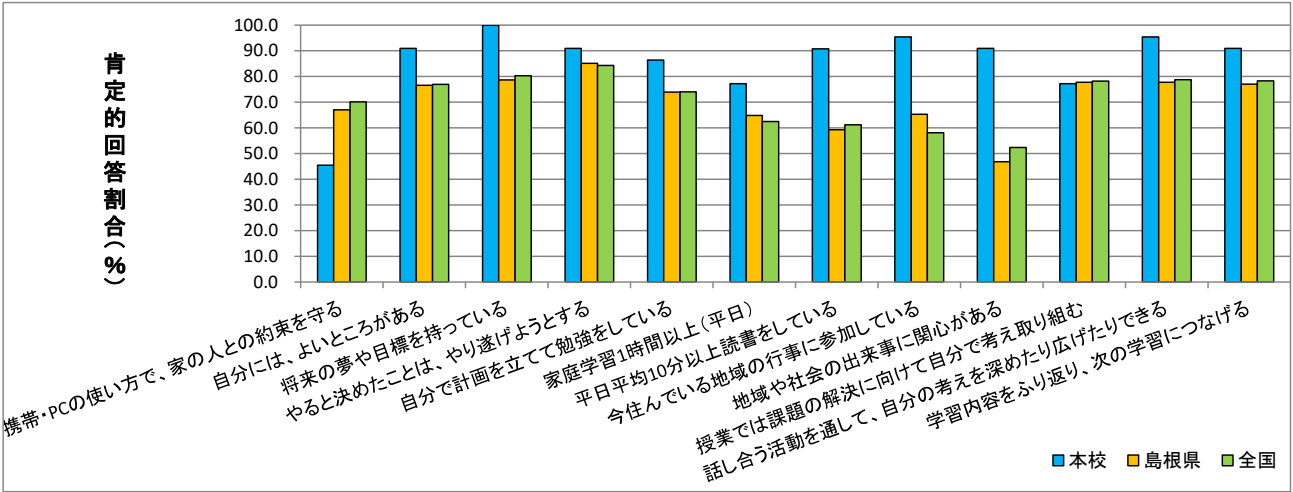
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○文章全体の構成を捉えたり、中心となる語句や文を見つけたりして、内容を正確に理解することができる児童が多い。 ○語句の使い方を正しく理解し、文章の中で使うことができる。 ●目的に応じ、文章と図表を結び付け必要な情報を見つけたり、適切な資料を選んだりすることがややできにくい。	・新聞記事や短編文章の見出し付けや要約などに継続して取り組み、文章全体を読み取る力を伸ばしていく。 ・学校図書館教育の充実を図り、多様な方法で情報を収集したり目的に応じた情報を取り出したり、その情報を整理・分析したりするなどして、情報の扱い方に関する知識・技能を身に付ける。
算数	○「数と計算」の領域については、除法の意味などよく理解されており活用問題についても正答率が高かった。 ●問題解決にあたり、必要な数値を見い出したり数学的に処理したりすることがやや苦手である。また、思考・判断したことを、手順を追って記述し、表現することが十分にはできにくい。	・活用、発展問題にも重点を置いて取り組み、児童同士で協働して問題を解決していく活動を通して、児童の思考を深めたり広げたりしていく。 ・手順を追った説明の仕方を日頃より意識させるとともに、グループやペア等で対話しながら考えを表現する機会を増やしていく。

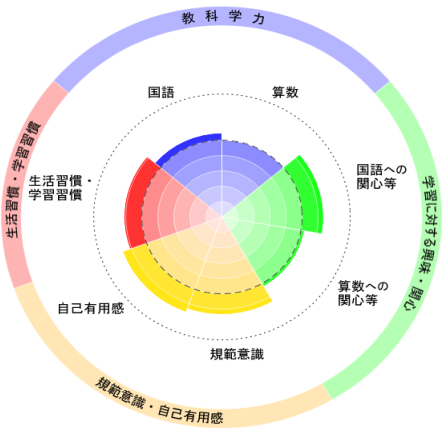
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○将来の夢や目標を一人一人がもち、前向きに努力しようとする。 ○自分たちが住んでいる地域のことに関心もち、進んで地域の行事に参加したり地域をよくしようと考えたりすることができる児童が多い。 ●携帯・スマートフォンやPC等の使い方について、家の人とのルールをきちんと守っている児童が少ない。	・キャリア教育を充実させるとともに、地域との連携を図った教育活動に継続して取り組んでいく。 ・メディアに関する学習を、発達段階に応じて積み重ねていくとともに、家庭との連携を図ったりメディアコントロール週間を活用したりして、メディアとのよい向き合い方を身に付けるようにする。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・児童自らが問題を見いだし友達と協働して解決していく学習過程や学習形態を工夫し、児童が主体的に対話的に学びを深めていくことができるように授業改善を図っていく。  
・国語科においては、言語活動を通して、教材文の読解で学んだことを表現につなげ生かしながら学習に取り組むようし、読解力と表現力の向上を図っていく。

【受検者数】 22 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。